

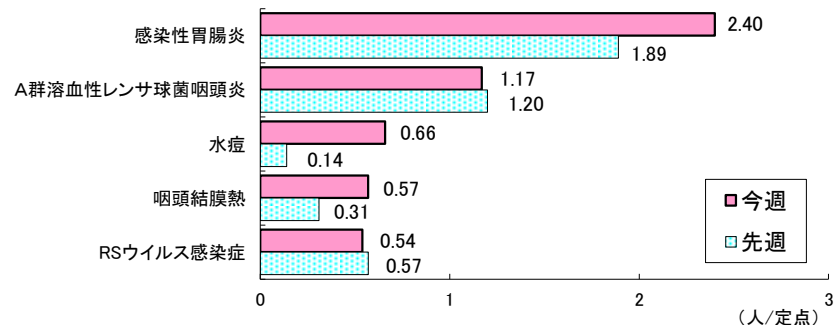


【第47週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で27%増加しています。保健所別では、秋田市、由利本荘、大仙、湯沢で増加、大館、北秋田、横手で同規模、能代、秋田中央で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で3%減少しています。保健所別では、能代、秋田中央、由利本荘、湯沢で増加、横手で同規模、秋田市、大仙で減少しています。
3. 水痘は、県全体で4.7倍に増加しています。保健所別では、大館、秋田中央、由利本荘、横手、湯沢で増加、秋田市で同規模、能代で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減			
RSウイルス感染症	0.57	0.54	↘	0.71	0.43	↘	2.25	0.25	↘						0.25	↗								1.00	1.67	↗	0.75	2.25	↗	
インフルエンザ		0.06	↗		0.09	↗		0.14	↗						0.17	↗														
咽頭結膜熱	0.31	0.57	↗	1.29	1.86	↗	0.50	0.50			1.50	↗			0.25	↗												0.25	↗	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.20	1.17	↘	2.86	1.00	↘								0.33	↗	2.50	4.25	↗		0.75	↗	1.25	1.00	↘	0.67	0.67		1.25	1.75	↗
感染性胃腸炎	1.89	2.40	↗	2.29	4.00	↗	0.75	0.75		0.50	0.50		4.67	3.67	↘	1.75	1.50	↘	1.00	1.25	↗	2.50	4.00	↗	2.00	2.00		1.25	2.00	↗
水痘	0.14	0.66	↗	0.29	0.29		0.25	2.50	↗				0.33		↘		0.50	↗		0.50	↗				1.00	↗	0.25	1.00	↗	
手足口病	0.29	0.23	↘	0.14		↘	1.00	0.50	↘	1.50	0.50	↘							0.50	0.50			0.25	↗			0.50	↗		
伝染性紅斑	0.09	0.17	↗	0.14	0.14		0.50	1.25	↗																					
突発性発しん	0.23	0.20	↘	0.29	0.14	↘		0.25	↗	1.50	0.50	↘			0.25	↗							0.25	↗	0.33		↘	0.50	0.50	
ヘルパンギーナ	0.37	0.29	↘	0.71	0.57	↘	0.50	0.50			0.50	↗													0.67	↗	1.50	0.25	↘	
流行性耳下腺炎		0.03	↗		0.14	↗																								
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎		0.13	↗												*	*			1.00	↗										
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎	2.75	2.00	↘	2.00	1.00	↘				11.00	8.00	↘		3.00	↗	*	*		3.00	1.00	↘	2.00	1.00	↘	1.00	2.00	↗	3.00		↘
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.38		↘												*	*									3.00		↘			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が由利本荘保健所管内から3人、報告されました。
- ・四類感染症のレジオネラ症が能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、百日咳が秋田市保健所管内から2人、横手保健所管内から4人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-46週 全国	秋田	47週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	19212	120	3
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	4		
	細菌性赤痢	221	1	
	腸管出血性大腸菌感染症	3684	56	
	腸チフス	34		
	パラチフス	21		
四類	E型肝炎	399	3	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	873		
	エキノкокクス症	11		
	黄熱			
	オウム病	6		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	6		
	キャサヌル森林病			
	Q熱	3		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	2		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	74		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
タニ媒介脳炎	1			
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-46週 全国	秋田	47週 秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	189	4	
	デング熱	177		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	288		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	3		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	2		
	マラリア	47		
	野兔病			
	ライム病	13	1	
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽	2			
レジオネラ症	1938	7	1	
レプトスピラ症	30			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アmeerバ赤痢	733	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	220	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1958	9	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	111		
	急性脳炎	576	6	
	クリプトスポリジウム症	24		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	188	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	610	5	
	後天性免疫不全症候群	1136		
	ジアルジア症	66	1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	418	5	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	31		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2806	16	
	水痘(入院例に限る)	388	6	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	6096	14	1
	播種性クリプトкокクス症	157	1	
	破傷風	115		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	70		
百日咳	9543	68	6	
風しん	2186	3		
麻しん	255			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	20			

トピック

<インフルエンザに備えましょう>

インフルエンザの定点あたり患者数(人/定点)は、現在のところ流行開始の目安となる1.00を下回っています。全国的には例年12月中旬頃から増加し始め、1月から3月にかけて流行のピークを迎えますので、県内でも今後の発生動向に注意が必要です。

インフルエンザを予防するために

1. 日ごろから心がけること

- ・帰宅時の手洗いを徹底しましょう。
- ・外出する際はマスクを着用し、できるだけ人混みは避けましょう。
- ・咳エチケットを心がけましょう。
- ・室内を適度な湿度(50~60%)に保ちましょう。
- ・十分な睡眠と、バランスのよい食事を心がけましょう。

2. 予防接種

予防接種にはインフルエンザに対する抵抗力(免疫)をつくり、重症化を防止する効果があります。効果が現れるまでには2週間程かかります。6か月~13歳未満の小児は1シーズン2回接種、13歳以上の方は通常1回接種です。費用は任意接種のため原則自己負担ですが、表に該当する方は定期接種の対象となっています。市町村によっては独自の助成事業を行っている場合がありますので、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関などにお問い合わせください。

表 定期接種対象者

対象者	備考
65歳以上の方 (接種日が65歳誕生日の方を含む)	-
60~64歳の方 ①心臓、腎臓、呼吸器の機能に障がいがある方 ②ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方	おおむね、身体障害者 手帳1級に相当する方

感染症の集団発生報告

肺炎球菌感染症による集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年11月20日
受付保健所 湯沢保健所
施設名称 グループホーム
やまびこ
有症者数 利用者8名のうち6名
把握期間 11月3日から11月20日まで

かぜ様症状の集団発生報告が1件ありました。

発生届出日 平成30年11月20日
受付保健所 湯沢保健所
施設名称 特別養護老人ホーム
シャイントピアみなせ
有症者数 利用者65名のうち16名
把握期間 11月16日から11月20日まで



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	横手(1.00)、湯沢(1.00)	大館(2.50)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		